

講義名	中国語 B			授業形態	
担当教員	小笠原 恵子	開講期・曜日・時間	後期 水曜日 2 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生
			ナンバリング・コード	CH1122	

主題と概要

この授業は、教科書に「中国語入門ルー66」を使用する。番号順に配置されたルールを一つずつ学ぶ度に、前進を実感して頂けると思う。苦手な項目にチェックを入ると、見直しも簡単かと思う。入門参考書として手元にあるとありがたい本もある。

各課のQRコードを読み込むと、その課の内容のリスニングが出来る。正しい発音を沢山聴いて発音に強くなってほしい。

準備学修で、リスニングを含む予習・復習をして頂きたいので、随時、宿題を指定したり、小テストを行ったります。

授業中は、ペア、もしくはグループワークで繰り返し発音と文法の練習をする。発音、文法と漢字の書き方が正しいか確認し、暗記する事を求める。

到達目標

中国語の発音記号（ピンイン）を正しく流暢に読めるようになる。
単語の発音と正しい字の書き方と基礎文型を暗記し、中国語の基礎がしっかり身に付くようになる。
自己紹介文を書け、口頭で自己紹介ができるようになる。
基礎会話ができるようになる。
基礎中国語のレベルで、中国語から日本語、日本語から中国語への翻訳と通訳ができるようになる。

提出課題

提出課題：テキストの各ページの書き写しと、練習の問題など、筆記宿題として指定する。
課題の提出は、提出日の授業の最初に提出する。出席者だけ提出出来るものとする。出席しない時が提出を認めない。提出締め切り後の提出も認めない。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

宿題と小テスト、中間テストで学生の課外学修を促しながら習得状況を把握し、間違いを指摘し、フィードバックする。

評価の基準

1)授業積極度と宿題で40%、中間試験30%、期末試験30%。
中間試験は、第6課終了後に、期末試験は第12課終了後に行う予定であるが、進度によって範囲の変更をする場合がある。授業中の発表が良くできる場合は加点する事がある。
欠席が5回で失格となる。遅刻3回は1回の欠席と換算される。また、授業中に寝たり、お喋りしたり、携帯をいじったりして、授業態度が悪いと、最終成績の評価が低くなる。

履修にあたっての注意・助言他

この授業は、学生一人一人の発音を聴いたり、質問に答えてもらったりするなどの為、座席指定です。教科書は必ず購入する事。教科書がないと、宿題提出と小テストの勉強に差し支えるし、授業内容が身に付かないため、途中でドロップアウトしてしまうのが通例です。

準備学修では提出課題のみでなく、リスニングと音読みも頻繁にやしてほしい。

授業中では、リスニング教材を聴く時はスマホの使用を指示する。それ以外は、スマホの使用を禁じる。
遅刻は3回で1回の欠席とみなすので注意すること。

教科書	.中国語 入門ルー66.	相原 茂 玄 宣博	朝日出版社	2400	9784255453309
-----	--------------	-----------	-------	------	---------------

参考図書

その他	

授業計画

- オリエンテーション・発音編1～2課一 声調、単母音・副母音・子音
復習内容：提出課題として第1～2課の練習問題を書く。中国語の発音記号（ピンイン）の書き方とルールを覚える。第1～2課音声資料を聞く。(120分)
予習内容：第3～4課の音声資料を聞き、発音、発音記号の書き方とルールを覚える。(120分)
- 発音編 3～4課一 鼻音・発音のつづり、課題集め、復習
復習内容：次回提出課題として第3～4課の練習問題を書く。第1課～第4課音声資料を聞く。(120分)
予習内容：次回提出課題として本編第3課P48～P51の中国語（漢字と発音記号）を1度書き写し、日本語訳を書く。第1課音声資料を聞く。(120分)
- 本編 第1課一人称代詞、「は～です」の言い方、課題集め、復習
復習内容：次回提出課題として本編第2課P42～P45の中国語（漢字と発音記号）を1度書き写し、日本語訳を書く。本編第2課の音声資料を聞く。(120分)
- 第2課一 指示代詞、母疑問文、反復疑問文、課題集め、復習
復習内容：次回提出課題として第2課の練習問題を書く。第2課音声資料を聞く。(120分)
予習内容：次回提出課題として本編第3課P48～P51の中国語（漢字と発音記号）を1度書き写し日本語訳を書く。第3課音声資料を聞く。(120分)
- 第3課一 形容詞漢語文、否定文と疑問文、課題集め、復習
復習内容：次回提出課題として第3課の練習問題を書く。第3課の音声資料を聞く。(120分)
予習内容：次回提出課題として本編第4課P54～P57の中国語（漢字と発音記号）を1度書き写し、日本語訳を書く。第4課音声資料を聞く。(120分)
- 第4課一 “的”日本語の“の”について、課題集め、復習
復習内容：次回提出課題として第4課の練習問題を書く。第4課音声資料を聞く。(120分)
予習内容：次回提出課題として、第5課P60～P63の中国語（漢字と発音記号）を1度書き写し、日本語訳を書く。第5課音声資料を聞く。(120分)
- 第5課一 前置詞“在”、“-で”、是…的、いくつかの疑問詞、課題集め、復習
復習内容：次回提出課題として第5課の練習問題を書く。第5課音声資料を聞く。(120分)
予習内容：次回提出課題として第6課P66～P68の中国語（漢字と発音記号）を1度書き写し、日本語訳を書く。第6課の音声資料を聞く。(120分)
- 第6課 一般の教え方、年月日、曜日の言い方、“凡”-いくつか? “呢”-“は”、課題集め、復習
復習内容：次回提出課題として第6課の練習問題を書く。第1課～第6課の復習をし、中間試験に備える。(120分)
予習内容：次回提出課題として第7課P72～P74の中国語（漢字と発音記号）を1度書き写し、日本語訳を書く。第7課の音声資料を聞く。(120分)
- 中間試験、試験後第7課 一物を教える、“有”-“持つ”、“二”と“両”、課題集め、復習
復習内容：次回提出課題として第7課の練習問題を書く。第7課の音声資料を聞く。(120分)
予習内容：次回提出課題として第8課P78～P80の中国語（漢字と発音記号）を1度書き写し、日本語訳を書く。第8課の音声資料を聞く。(120分)
- 第8課 “有”、“在”-“ある/いる”、課題集め、復習
復習内容：次回提出課題として第8課の練習問題を書く。第8課の音声資料を聞き復習する。(120分)
予習内容：次回提出課題として第9課P84～P87の中国語（漢字と発音記号）を1度書き写し、日本語訳を書く。第8課音声資料を聞く。(120分)
- 第9課 二つもの“怎么”-“どうして”、課題集め、復習
復習内容：次回提出課題として第9課練習問題を書く。第9課の音声資料を聞く。(120分)
予習内容：次回提出課題として、本編第10課P90～P93の中国語（漢字と発音記号）を1度書き写し、日本語訳を書く。第10課音声資料を聞く。(120分)

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

外国語を用いて「人と円滑なコミュニケーションをとることができる」資質・能力を育み、商学部生に求められる「各業界の動向や問題点を理解するための基礎知識」、経済学部生に求められる「人間、社会に関するこれまでの学問的成果の基礎」、人間社会学部生に求められる「日常生活と文化といった現実社会の様々なテーマ」に習熟し「コミュニケーション能力」の育成を目指します

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考
